

令和2年度 学校評価【 計画 】

学校名	鹿島市立 能古見小学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>1 学力向上 基本的な学習習慣の確立はできてきたが、一つ一つの学習への主体的な向き合い方、家庭学習の習慣化・習熟・補充・発展学習の強化が課題である。</p> <p>2 体験活動・健康・体力づくり 地域・自然及び地域等人材の活用は、年間計画に沿ってできている。体育の推進も「体育学習カート」「8の字チャレンジ」へ全校的な参加もできている。児童の主体性を高める魅力ある活動づくりが課題である。</p> <p>3 心の教育 「挨拶」「無言清掃」は工夫しながら継続した指導が必要である。日々の観察や相談、Q-Uアンケートや保護者アンケートなどを生かし、相手を尊重し大切に「人権教育」の充実に向けて継続して取り組む必要がある。特別支援教育ではスムーズな交流と実態に応じたきめ細かな指導を引き継ぐ。</p> <p>4 教育環境 空調設置稼働による光熱費の増加については、校内においても、日常的に節電や節水を呼びかけエアコン使用規定を徹底させることで、昨年度比6%増程度に抑えることができた。また、美しく使いやすい職員室づくりを進めることができた。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	新たな時代を切り拓き、共に生き抜く児童の育成 ～かしこく・正しく・たくましく～
----------	--

3 本年度の重点目標	能古見っ子の「学力向上」と「人権意識の向上」
------------	-------------------------------

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
● 学力の向上 <かしこく>	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間でのマイプランの共有及び実践 ・学びタイムの継続的な実施と強化 ・校内研究として、算数科を中心に実践しながら、他教科へ広げる ・家庭学習の手引きや自学のススメをもとに家庭学習の強化を図る
	○児童が1時間の授業を大切に、主体的・対話的に学習に取り組むための授業づくり(アクティブ・ラーニングへのチャレンジ)	○学習過程の工夫により、「授業は、よくなり、楽しい」と思う児童80%以上	
● 心の教育 <正しく>	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動(相手を尊重し大切に「人権教育」の徹底)	○学級及び個人の「心のめあてが達成できた」と思う児童80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のクラスでの心のめあて設定・振り返り ・平和学習や人権教室(年2回)等の実施 ・道徳科の授業の充実を図り、人権意識の向上につなげる ・保護者や地域と連携したふるさと体験活動の実施
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめアンケート等で、嫌な思いをしている児童15%以下	
	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「日々目標をもって生活し、将来の夢や希望を持っている」と回答をした児童(小学6年生)80%以上	
● 健康・体づくり <たくましく>	●「望ましい生活習慣の形成」	○「健康に気を付けて、手洗いやうがいに取り組んでいる」児童90%以上 ○「朝ご飯を食べてきている」という児童90%以上 ○「週に3回以上外遊びをする」児童80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツチャレンジを年間指導計画に入れ、楽しく運動に取り組めるようにし、運動の習慣化を図る ・健康に関する情報を「保健室便り」で伝え、日々の健康チェックや「歯みがきカレンダー」等の記入を通して基本的健康活動の習慣化を図る ・食育月間や給食習慣を利用して、食の大切さを呼びかける
● 業務改善・教職員の働き方改革の推進 <環境づくり>	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する(月45時間、年間360時間を超えない) ○年休取得7割以上	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の始業、終業の時間の記録の可視化を図り、時間外勤務時間の意識化を図る ・週に1日の定時退勤日の徹底 ・各種取組のスリム化等の見直しを図る

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
○ 特別支援教育の充実	○「個に応じたきめ細やかな指導」「交流学習の充実」	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ○気になる児童の共通理解の時間を職員連絡会等で定期的に設置 ○外部講師を招聘しての特別支援教育に関する研修会を年2回以上実施

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育